

子供輝く

@TOKYO

子供輝く@学校プロジェクト

落語の特別授業

【伝統文化・芸能体験ワークショップ】



子供たちは、終始笑いっぱなしでした！また、ライブのよさを改めて実感することができました。



クラス毎の実施や、高座と児童の距離を十分に空けるなど、新型コロナウイルス感染症対策を行い実施しました。タブレットを用いたりリモート中継も実施したことで、欠席の子供たちも落語を聞くことができ、とても喜んでいました。



令和3年9月14日（火）、（公財）東京都歴史文化財団主催「子供のための伝統文化・芸能体験事業」が4年生を対象に実施され、52名の児童が落語を体験しました。

講師を務めたのは、噺家の桂枝太郎（かつら えだたろう）さんと三遊亭花金（さんゆうてい はなきん）さんです。落語の所作の説明では、扇子を使った様々な表現が実演されました。講師が扇子を箸に見立ててそばをすすってみせると、子供たちは、さも熱々のそばがそこにあるかのような、その仕草に見入っていました。また、「出張」と「つる」の噺も披露されました。本職の見事な話芸に、腹を抱えて笑う子供たちもいて、落語の魅力を堪能することができた様子でした。会の終わりには、「とても面白かったです。落語の奥深さを感じました。」と、児童がお礼と感想を伝えました。

品川区立大原小学校